

[2021]九州大学情報統括本部年報 : 2021年度

<https://hdl.handle.net/2324/4844360>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2021, pp.1-, 2022-10-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



第9章 教育基盤事業室

9.1 教育用 ICT 環境の管理運用に関する事項

- ・ M2B システムを構成する Moodle (Web を利用した学習支援システム)、Mahara (学習日誌等を記載するシステム)、BookQ(デジタル教材閲覧システム)の管理・運用を行った。
 - ・ 2021 年度合計：7,282 コース (2020 年度合計：10,620 コース)
 - ・ 2021 年度前期：3,493 コース
 - ・ 2021 年度後期：3,396 コース
 - ・ 2021 年度通年：393 コース
- ※2020 年度は全コースをあらかじめ作成していたが、2021 年度は担当教員からのリクエストベースでのコース作成に変更したため、コース数が大きく変わっている。
- ・ Moodle の負荷状況を Mackerel というサーバ監視サービスを使って収集し、レスポンス改善の検討を行った。
- ・ クラウド上で Windows と Linux を使えるようにするための QUEENS (Kyushu University Educational ENvironment Services)システムの運用を行った。
- ・ プログラミング学習用サーバの運用を行った。Moodle と LTI 連携して Web ブラウザ上でプログラミング学習を行える環境の管理・運用を行った。

9.2 教育用 ICT 環境の利用支援及び教育用コンテンツの整備に関する事項

(1) 教育用 ICT 環境の利用支援

- ・ Web ページ上の教育用 ICT 環境に関する情報の更新、掲載を進めた。また、学府向けオリエンテーション支援として、アカウントの説明や主な情報システムを紹介した案内文書を作成し、配布した。
- ・ M2B システムの講習会をオンライン形式で開催し、以下のような参加があった。
 - ・ 2021 年 9 月 24 日 (金)：初級編 38 名、中上級編 37 名
 - ・ 2022 年 3 月 14 日 (月)：72 名
 - ・ 2022 年 3 月 17 日 (木)：86 名

(2) 教育用コンテンツの整備

教材として、「情報倫理 2019 年度版」の日本語版、英語版、中国語版、「情報倫理デジタルビデオ小品集」、「よくわかる Office」の基礎編と応用編を 2016 から 2019 に更新して公開している。

9.3 学生 PC 必携に関する事項

- ・ 新入生が入学前にアカウントの有効化や PC の設定などの準備を行う「入学前 PC カスタマイズ作業」のための説明動画や Web ページを作成して、自宅での作業を想定した案内を送付した。新

入生 2,648 名のうち、2,476 名が設定作業を完了した。

- ・学生主体組織の quickQ チームと連携して、説明動画の作成と問い合わせ対応を行った。問い合わせ対応には、LINE bot と LINE によるチャット対応を新たに導入して、効率化を行った。

9.4 アンケートシステムの運用に関する事項

教育情報システムの Moodle を使用しなくてもアンケートを作成し公開できるアンケートシステムの運用を行った。アンケートシステムの利用に関する情報を Web ページに掲載している。

9.5 教職員研修コース用 e ラーニングシステムの導入に関する事項

教育情報システムの Moodle を学生の教育・学習用として最適化していくために、新たに商用パブリッククラウド上に構築する教職員向けの e ラーニングシステムを構築し、2020 年度前期から運用を開始している。2021 年度は学生データの取り込むための機能改修を行った。さらに職員の [身分] と [役職] を限定的に公開する機能、コースへのユーザ自動登録機能の追加を行った。

- ・2021 年度：69 コースの利用（2020 年度：44 コース）

9.6 多地点接続装置の管理運用および利用支援に関する事項

- (1) 多地点接続装置 (MCU) を運用し、キャンパス間および学外との遠隔講義・テレビ会議の開催を支援した。
- (2) 遠隔講義・会議システムの利用支援

Web ページに MCU 及びビデオ会議装置に関する情報を掲載している。

9.7 大橋キャンパスの情報環境整備

芸術工学部・学府用教育情報システムとして教育端末を 80 台導入し、大講義やレポート作成及び情報収集などの学習・教育にて利用している。2021 年 9 月に、夏季メンテナンス作業を実施し、サーバ及び教育用端末の OS を含む導入ソフトウェアに対するパッチ、修正作業、現フリーソフトのバージョンアップ、フリーソフトの追加インストール及び作業内容を反映させたイメージ管理機能で利用する OS イメージの更新作業を行った。